

令和 4 年度 第四吾孺小学校 経営報告書

令和 5 年 3 月 1 4 日作成

学 校 目 標	◇健康で心豊かな子 ◇力を合わせてつとめをやりとげる子	◇よく考え進んで実行する子 ◇礼儀正しい子
目 指 す 学 校 像	【ほめる・認める・きちんと諭す 意欲とけじめのある学校づくり】 ◇学ぶ力が伸びる学校 ◇連携する学校 ◇安全・安心な学校	
目 指 す 子 供 像	◇元気でいききと学び、運動する子 ◇協力し合い、認め・高め合う、共生社会の担い手となる子 ◇地域・社会に貢献する礼儀正しい子	
目 指 す 教 師 像	◇自ら学び、自己研鑽する教師 ◇教育公務員としての自覚をもち、保護者・地域社会の期待にこたえる教師 ◇「褒める・認める・きちんと諭す」ことができる、あたたかく、厳しく、情熱的な教師	

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	◇ICT 機器を活用した学習の展開。 →GIGA スクール構想「ステップ2」(学びを深めるためのタブレット活用)の充実。意見・考えの交流や深め合いにより積極的に活用していく。 ◇学力向上をめあてとした放課後・家庭学習等の充実。 →区教育研究所配布の復習・ふり返り教材を積極的に活用していく。 ◇オンライン授業の充実。 →感染症関係の欠席・不登校傾向の児童(体調良好な場合)に対して時間を限定して実施を継続。	B	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	B	◇要支援児の実態を把握(月1回、ケース会議)・職員で共通理解し、適切な指導を実施。 ◇関係諸機関(特別支援学校等)との連携・活用を継続。 ◇医療的ケアが必要な児童の指導体制づくりの充実。 ◇交流授業・活動を意図的計画的に実施し、社会性・障がい理解等の伸長を図る。	A	A
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	B	◇全教育活動を通して、地域人材・外部機関を活用した体験活動等を再開させる。 ◇SCによる児童面接(全員面接・希望者面接 他)のさらなる利用促進。	A	B
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	B	◇校内研究を毎月実施(研究授業3回)。 →国語科「言語活動を駆使して考えを高め、深めあう」指導の工夫を追求。 ◇教員間の授業相互参観、管理職による授業観察を実施。	A	B
	学校関係者評価委員会の意見等		○それぞれの改善策について、もう少し具体的な内容での記載があるとより読み手の理解が深まると感じました。		

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	◇週1回の連絡会実施を継続。全教員の共通認識・共通行動のもと、問題行動の未然防止・解決にあたる。 ◇いじめ・不登校対策会議（月1回）実施を継続。全教員の共通認識・共通行動のもと、組織的に対応する。 ★「不登校・いじめ」に関しては、「兆候があるケース・児童」を見逃すことなく、引き続き早期発見・未然防止に努める。	A	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	◇あいさつの励行、丁寧な言葉遣いを推進する。 →教員・代表委員会等による、健康観察・あいさつ励行の取り組みを定期的実施。 ◇道徳教育年間計画の完全実施。 ◇長期休業明けの生活リズムチェック週間を継続実施し、休み明けの生活リズム定着に取り組む。	A	A
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。（コロナ感染防止対策も含む）	A	◇健康・安全な生活環境づくり。 →月1回の保健指導・安全指導の実施。 ◇各種安全教室の実施。 →情報モラル教室、自転車教室、交通安全教室等の実施。 ◇食育・アレルギー対策の充実。 →保護者とのアレルギー面談を確実に実施。 ◇人権教育の充実。 →日常的な指導と道徳の時間での指導の連動。不適切な言動への即時対応・指導の徹底。 ◇防災教育の充実。 →区関連機関やPTA、地域人材による防災教室の実施。	A	A
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立てているか。	B	◇保護者からの意見、保護者アンケートからの意見を参考に、学校内で課題を把握、改善策を検討・実施。 →社会の状況、保護者のニーズ、教育活動としての意義をバランスよく勘案したうえで、改善策をたて実施していく。 ◇PTA 役員定例会を月1回実施。役員からアイデアや要望、アドバイスを聞き取り、改善策立案に反映させていく。 →学校とPTAとが「相互尊重・信頼」をより深め、課題解決のためにも行動していく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		○いろいろな事に対して、柔軟に対応していただきとてもありがたく思っております。 ○私の息子が休みが続いたときは、毎日cocoaや手紙を通して積極的に話しかけてくださったり、とても目にかけてくださったり、感謝しています。また、玄関に校長先生や副校長先生が立って大きな声で率先して挨拶されている姿に感銘を受けました。PTA本部役員活動や、月1回の定例会を通して共通理解を図り、改善策に取り組みされていたのは肌で感じる事ができました。		

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	B	◇経営理念・方針の理解と、各教員の適切な目標設定。 →経営理念「ほめる・みとめる・きちんと諭す 意欲とけじめのある学校づくり」のさらなる浸透・定着。 →経営方針「学ぶ力、連携発信、安全安心」を基調とした学級・専科経営計画・目標設定の徹底。 ◇分掌組織上の役割理解と確実な実施。 →確実な引き継ぎと、状況変化への柔軟な対応・変更。 →より効率的な組織への小改編を行う。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	◇内部・外部評価および保護者・児童アンケートの結果を点検・分析し、各課題の解決に向けた策を立案する。解決策は次年度教育計画に反映させ、実施していく。	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	◇月1回の施設安全点検の徹底。 ◇未整備の教室・施設の整理整頓と有効活用。 ◇修理・改修が必要な施設への早期対応。 →校庭の危険箇所の補修および全面改修計画の立案を予定。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	○校長先生より各教員の先生方について細かく教えていただけておりとても安心できます。 ○展覧会を参観し、個性あふれる作品を見ていると、教育方針の理解が生徒一人一人を通して体現されていることがよくわかりました。伸び伸びとそれであってしっかりとした意思が伝わり、学校教育のあり方を体感できました。生徒一人一人の個性に合わせて教育を行っていくのは大変だとは思いますが、これからも期待しています。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	◇学校便り、学級便り、各学年通信等を通して、教育活動の実際を伝える。 ◇学校 HP のさらなる充実。 →トップページ、各ページの定期的なアップを実施。 →更新のさらなるスピードアップ。「見やすさ」の追究。	A	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	C	◇各教育活動への保護者ボランティア募集の再開。 ◇地域人材を活用した体験学習の再開。 →キャリア教育の推進、地域の一員としての児童の自覚高揚を図る。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	○コロナの影響による地域一斉防災訓練や地域のイベントについても管理職の先生方が積極的に参加していただいている。 ○コロナ禍でいろいろと制約のある中でも学校公開など数多く開催していただき学校活動の様子を知ることができました。地域行事への参加はまだまだ難しい部分があるとは思いますが、徐々に再開できれば良いなと思います。			

様式 4

2 令和 4 年度学校評価 最終報告 (◇計画通り ◆改善中 ▲未達成)

◇新型コロナ感染症の流行状況に応じて「冷静に状況判断し、今できることを確実に実行すること」を第一義とし、安全安心な学校経営を進めている。健康観察・感染防止対策も確実に行ったため、クラスターの発生はない。コロナ関係の欠席者（感染が不安な場合）には、学びを保障するために、タブレットを活用したりリモート授業の配信を実施している。

◇不登校、いじめが減少している。「あたたかな地域性、ゆとりある学校生活、保護者の早期対応への意識向上」が原因と捉えている。→不登校、いじめゼロを目指し、小さな兆候を見逃さず、早期発見・未然防止に努めていく。

◆GIGA スクール構想（タブレット活用した学習の充実など）への取り組みは、区教委の研修資料等を活用して行っている。教員の活用能力も向上した。児童の活用能力も飛躍的に伸びているが、ルールに則ったタブレットの使用方法を完全定着させる必要がある。

▲区学力調査では、2・3年生が安定した成績をあげている反面、4・5年生が伸び悩んだ。理科・社会は、全学年で苦戦。12月より向上策を実施中である。本校は「学年が上がるにつれて成績が伸びる（少なくとも現状維持）」のが特長である。教員はもちろん、学習支援員などの外部人材も活用しながら、今後も丁寧な個別指導を実施していく。

◆各種たよりの発行などのアナログ情報発信に加えて、情報連絡メールの活用、ICTを利用したアンケート調査実施を実施。また、ホームページの更新も定期的に行っている。レイアウトの見直し、掲載内容の充実などが課題である。→個人情報等の扱いの関係上、掲載可能な内容は限られてしまう。

★今後も、安全安心を最優先したうえで、「コロナ後」を見据えた学校経営を進める。また、コロナ禍の状況変化に柔軟に対応すべく、常に複数の計画案・実施案を立案しながら、教育活動のさらなる充実を図っていく。

3 委員・自由記述欄

○いつも細やかな連携に感謝申し上げます。子供たちを通じて、褒める、認める、きちんと論ずという方針が子供たちに浸透している様子があり、のびのびとダイナミックに成長する姿があらわれています。今後も引き続きよろしく願います。

○何に対しても柔軟に対応していただき、児童を第一に考えていただける校長先生、副校長先生にはとても感謝しております。コロナに対する制約も少しずつ緩和される中で、コロナ前に少しでも近づける学校生活に戻せることを期待しています。今後もよろしくお願いいたします。

○コロナ禍であっても「今できることを確実に実行する」というのはとても強く感じました。私の家族全員がコロナになってしまった時の担任の先生を通しての学校側のご対応にはとても感謝しております。それ以外でも、休みがちになってしまった時も、あししげくわざわざ自宅まで宿題やお知らせをもってきてくださったり、資料に添えて自筆のお手紙までいただいたり、細かなお心遣いから学校の目指す姿をひしひしと感ずることができ、息子を第四吾嬬小学校に入学させて良かったと心から思っています。生徒一人一人の特性を見極めて指導されている担任の福原先生には感銘を受けています。コロナ禍でいろいろなことに制限がかかり、やりたいこともなかなかままならないですが、これからも学校、地域、保護者が連携して、生徒たちがよりよい学校生活を送れるよう支援していきたいです。

○子供が5年生になるため、進路指導も含めてお願いしたいです。

報告者： 墨田区立第四吾嬬小学校 校長 清水 雅也